

障害者支援施設 あかまつ荘

1、事業概要

施設入所支援	施設に入所されている方々の夜間や休日において入浴、排泄、食事の介護等や余暇支援を提供した
生活介護	常に介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護等を提供すると共に創作活動又は、生活活動の機会を提供した
短期入所	在宅生活者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする利用者に入浴排泄及び食事の介護その他の必要な支援を提供した

2、職員配置

事業所名	職 種	員 数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
障害者支援施設 あかまつ荘	管 理 者	1		1			
	専 門 生 活 支 援 員	1	1				
	サ ー ビ ス 管 理 責 任 者	1	1				
	生 活 支 援 員	7	7				
	作 業 指 導 員	7	4		3		非常勤：8時間以内勤務
	事 務	2	2				
	看 護 師	3	1	1	1		
	栄 養 士	1	1	1			
厨 房	4	4	4				
合 計		27	21	7	4		

(平成28年3月末現在)

3、利用者の状況 (平成28年3月末現在)

(1) 利用者数

事業名/性別	男性	女性	合計
施設入所支援	27人	17人	44人
生活介護	29人	14人	43人
短期入所	0人	0人	0人

(2) 障害状況

ア障害名

事業名/種別	身体	知的	精神	その他	合計
施設入所支援	12人	40人	3人	0人	55人
生活介護	14人	41人	3人	1人	59人
短期入所	0人	0人	0人	0人	1人

※重複障害者を含む

イ障害支援区分

事業名/区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし	平均
施設入所支援	0人	4人	10人	12人	9人	9人	0人	4.0
短期入所	0人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	

(3) 年間利用状況

事業名/利用項目	延べ利用日数	定員	延べ利用人数	利用率
施設入所支援	365日	45人	16,060人	97.7%
生活介護	245日	45人	10,535人	95.5%
短期入所	365日	4人	282人	19.3%

4、提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握・反映し、利用者の意向に沿った支援を提供した
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った喜ばれる食事の提供、衛生管理の徹底を図った
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能の維持と生活動作の確保、入浴・排泄・身体等の介護を提供した
創作活動	軽作業を通して利用者が目的を持って取り組む事により、集中力や持続力を高められる支援を提供
生活相談	利用者・家族の方々の生活全般の相談援助
健康管理	利用者の健康維持の為、個々の障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期検診、感染症予防対策に努めた
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき事前対策や定期防災訓練を実施した
職員の資質の向上（研修の強化）	各種研修会への積極的な参加、施設内での伝達講習会にてサービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を実施した
余暇活動（ボランティア・趣味・教養娯楽）	個々の要望に応じた余暇支援・ボランティアさんとのふれあい活動を提供した
送迎の支援	買い物支援、定期受診などの送迎支援の提供をした

5、班別活動

	項目	活動内容
「いきいき班」	作業活動	アルミ缶リサイクル・園周辺の環境整備 ・手工芸等の創作活動を提供した
	生活学習 レクリエーション	日帰りドライブ1回（サーカス見学） 軽運動・レクリエーションを提供した
	「さくら班」	機能訓練

	生活介護訓練	食事・排泄・移動・整容・保清のための介護を提供した
	健康衛生管理	体温・体重・血圧測定を実施し看護師と連携して健康管理にあたった。汚物処理、感染症対策を職員間で徹底、うがい手洗いを励行した
	生活学習 レクリエーション	日帰りドライブ1回（サーカス見学） 軽運動・レクリエーションを提供した

6、主な行事

4月	お花見・保護者会総会	10月	南陽会秋
5月	田島第二小学校運動会 県スポーツ大会	12月	クリスマス会・忘年会
7月	田島祇園祭（オプション）	1月	新年会・だんごさし
8月	花火大会	2月	節分
9月	お月見	3月	ひな祭り

7、研修

実施月	研修内容
外部研修	
5月	社会福祉施設等職員初任者基礎研修、障がい福祉施設等基礎研修、役員会総会
6月	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員研修
7月	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修
8月	県知的障害施設協会障害者支援施設部会協議会
9月	キャリアパス制度再構築研修 支援スタッフ委員会
10月	精神保健福祉関係職員研修 社会福祉施設看護等職員研修
11月	東北フォーラム
12月	特定給食施設等講習会
1月	社会福祉法人会計実務者決算講座
2月	自衛消防隊員教育 知的障害者施設合同研修会
内部研修	各種研修会参加後に伝達講習会、法人全職員を対象に諸規定、人権擁護研修会を実施
自己啓発	講演会や研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供した

8、ボランティア活動

『ボランティア依頼』	<ul style="list-style-type: none"> ●趣味サークルなどの指導や行事催し物（歌・踊り）の依頼 ふるさと民謡様（4月、9月、10月、12月、3月） 息吹様（10月、12月）、 ●利用者把握やお手伝いの依頼 長野婦人会様、長野消防団様、田島小学校様、田島高校様（10月秋祭りの調理、模擬店手伝い）
------------	--

『ボランティア活動（奉仕活動）』	地域の環境美化（ゴミ拾い等）を実施した
------------------	---------------------

9、環境美化事業

活動時期	活動内容
4月	駐車場清掃・軒下掃除
6月	第1回保護者合同奉仕作業（窓拭き・網戸取り付け・草刈り作業）
7月	下駄箱清掃（利用者の履物チェック）
9月～10月	職員奉仕作業（草刈り・除草剤まき・園周辺の整理）
11月	第2回保護者合同奉仕作業（網戸の取り外し・冬囲い）
12月	大掃除（浴室・トイレ・洗濯場）
その他	屋外の大掃除・トイレ掃除・クモの巣駆除

10、保健衛生

（1）利用者の健康維持推進	日々の健康状態を把握し、ご家族、病院と連携し利用者が健康で過ごせるように支援した
（2）感染症対策	感染症情報を把握し適切な処置・対応と発生防止に努めた
（3）安全衛生	清潔で快適な生活環境を保ち安全で快適な職場環境を整えた 職員の健康診断を行い生活習慣病の予防に努めた

保健医療機関での診察状況

診療科目	実人員／（人）		延診察日数／（日）		一日あたり平均診察日数	
	入院	入院外	入院	入院外	入院	入院外
内科系疾患	4	29	84	185	21.0	6.4
精神科	5	34	184	150	36.8	4.4
耳鼻科		3		15		5
皮膚科		6		14		2.3
婦人科						
眼科		3		17		5.5
外科	3	5	162	10	54	2
歯科		7		68		9.7
泌尿器科		3		16		5.3
整形外科	1	7	12	53	12	7.6
計	13	97	442	536	123.8	48.2

利用者及び職員の定期健康診断の実施状況

<利用者>

期 日	実施人員	検査内容	検査機関
H.27.5.27	20名	乳がん検診	保健衛生協会
H.27.6.30	17名	子宮がん検診	保健衛生協会
H.28.8.31	63名	胸部レントゲン	保健衛生協会
	62名	心電図	保健衛生協会
	63名	血液検査	保健衛生協会
H.28.3.8	61名	血液検査	保健衛生協会

<職員>

期 日	実施人員	検査内容	検査機関
H27.9.4	38名	胸部レントゲン	福島二本松病院
	38名	心電図	福島二本松病院
	38名	血液検査	福島二本松病院
	37名	尿検査	福島二本松病院
	38名	視覚・聴覚検査	福島二本松病院
H28.3.8	12名	胸部レントゲン（夜勤実施者）	保健衛生協会
	12名	血液検査（夜勤実施者）	保健衛生協会

1 1、給食管理

① 利用者のニーズにあった、喜ばれる食事の提供。

利用者にとって、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事提供に努めた。

利用者、個々の状態や疾病に適した食事の提供に努めた。

4月	お花見会（保護者会総会）：お花見弁当	10月	秋祭り：焼きそば、豚汁、唐揚げ他
5月	子どもの日：ちらし寿司	11月	収穫祭：おにぎり、きのこ汁、ふかし芋
6月	誕生会	12月	誕生会、忘年会&クリスマス会（お弁当）
7月	土用丑の日：鰻のちらし寿司、祇園祭	1月	お正月：こづゆ、おせち盛他・団子さし
8月	花火大会：夏野菜カレー、すいか、漬物	2月	節分：恵方巻き
9月	受水槽清掃：外注弁当、誕生会	3月	ひな祭り、春彼岸、誕生会

② 一人ひとりの健康を支えた（個々の喫食状況に合わせた食形態を提供）

食事形態	人数（H28・3/31 現在）
普通食	22名

きざみ食	12名
ミキサー食	10名
合計	44名

③ 食の安全に取り組んだ
利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた
<実施内容>
●関係職員の月1回の検便検査の実施（冬季間においてはノロウイルス検査の追加）
●取引業者の自主検査の提出依頼
●毎日の水質検査、調理員・配膳者の衛生、体調チェック（調理員）等

12、防災

【基本方針】	
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する	
【実施内容】	
<体制整備・減災のための事前対策に努めた>	
①立地条件と災害予測	施設の立地条件の把握と災害の予測について検討した
②災害時体制整備	役割分担、連絡体制を整備した
③情報整理	施設利用者情報を把握した
④基準等の策定	避難の判断、災害に応じた避難方法を検討した
⑤事前準備・安全対策	食糧等備蓄、施設の定期点検
⑥教育・訓練	職員への防災教育、防災訓練を実施した

【年間防災活動】

月	月別防災項目	実施内容
4	防火設備の点検	職員で防災マニュアルの確認・点検 スプリンクラー設置に伴う防火設備の確認
5	避難訓練（通報・避難誘導）	体制整備・減災のための事前対策の点検
7	避難訓練（通報・避難誘導）	避難経路、危険箇所、防災用具の点検
11	避難訓練（通報・避難誘導）	避難場所・経路の環境整備
1	避難訓練（通報・避難誘導）	冬期間の避難場所・経路の環境整備

13、事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ヒヤリハットレポートを活用し職場内での安全対策強化を進めた
送迎車両の運転	送迎車両の利用時など利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検・安全運転）に努めた